

2025年10月24日

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

大阪シティバス株式会社

路線バス向けテレマティクスサービス「Bus セイフティ」を共同で開発 ～バスドライバーの運転をスコアで可視化、事故削減とドライバー育成の効率化を目指す～

MS&ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介、以下「あいおいニッセイ同和損保」）と路線バスを運行する大阪シティバス株式会社（代表取締役社長：中村 和浩、以下「大阪シティバス」）は、路線バスの事故削減と効率的・効果的な安全運転教育を実現する支援策の構築に共同で取り組み、ドライブレコーダーのデータを活用した安全運転支援サービス「Bus セイフティ」を開発しました。本サービスの提供を2025年11月より開始し、第一弾として大阪シティバスが全路線で導入します。

1. 背景

路線バスの重大事故件数は現在、年間約2,200件発生しており、高止まりの状況が続いています※¹。また、路線バス業界は慢性的な人手不足に直面しており、2024年時点でドライバーの平均年齢は55歳と全産業の平均を上回り、今後熟練ドライバーの減少が懸念されています※²。

こうした背景を踏まえ、国内におけるテレマティクス自動車保険のリーディングカンパニーであるあいおいニッセイ同和損保と、熟練ドライバーや運行管理者の知見をもつ大阪シティバスは、実際の事故データとドライブレコーダーから取得した走行データに基づき、路線バス専用の安全運転スコアリングアルゴリズムを開発し、効率的・効果的な安全運転教育支援サービスを共同で構築しました。

※1 国土交通省 「自動車運送事業用自動車事故統計年報（令和4年）」より引用

※2 国土交通省 「交通政策白書」より引用

2. 「Bus セイフティ」について

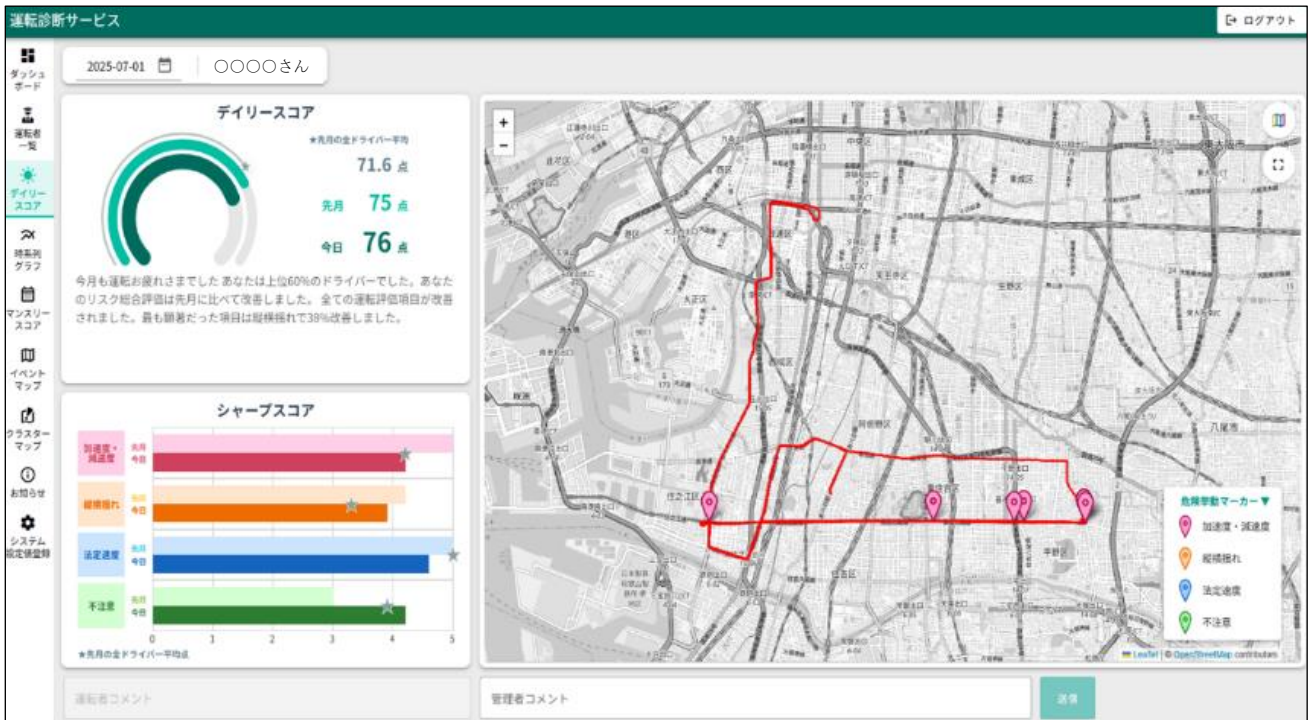
（1）概要

サービス名称	Bus セイフティ
提供開始日	2025年11月4日
提供先	路線バス運行事業者
サービス内容	① 安全運転スコア提供（日次・月次） ・運転スコアを専用アプリにて提供、運行終了直後に運転の振り返りが可能 ・月初めに前月のスコアを確認し、運転の傾向確認と改善目標に活用 ② 危険挙動発生場所確認 ・運行経路の確認と、一定の閾値を超えた危険挙動発生場所を表示 ③ 管理者機能 ・所属ドライバーのスコア確認 ・全営業所ドライバーの危険挙動発生場所の表示 など
対象メーカー※ ³	クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社

※³ 順次対象メーカー・機種を拡大予定

【画面イメージ】

<ドライバー用スコア確認画面>



<管理者用危険挙動発生場所 MAP>



(2) サービスの特長

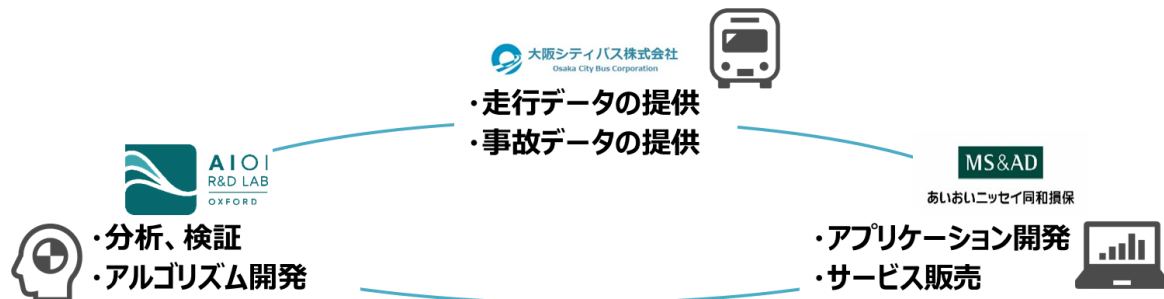
あいおいニッセイ同和損保と同社グループ会社の Aioi R&D Lab - Oxford^{*4}は、実際の事故データと路線バスの運転データを分析し、事故の発生と相関関係のある5項目69個の運転特徴を抽出しました。本サービスでは、テレマティクス自動車保険のスコアリングに使用している「急加速・急減速・速度超過」のデータに加え、バス特有の運転特徴である「縦横揺れ・ドア開閉操作」などのデータも使用したアルゴリズムを構築することで、より精度の高い安全運転スコアを提供します。(特許出願中)

大阪シティバスとの実証実験では、低スコアドライバーが高スコアを目指し運転改善を行った場合、事故率を約20%低減させることが可能であることが確認されています。

ドライバー向けに路線バスの特徴をふまえたスコアリングを行うことで、個々のドライバーへ具体的な改善点のアドバイスや、安全運転へのポジティブフィードバックが可能となります。

また、管理者は日々ドライバーのスコアを把握し、各ドライバーの運転特徴に基づく対話や分析を通じて、効率的・効果的なドライバーとのコミュニケーションや安全運転教育が可能となります。

※4 [【業界初】英国オックスフォード大学の AI ベンチャーと共同研究所を設立](#)（2022 年 12 月 9 日）



3. 今後の展開

あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DX」※5の理念のもと、先進技術を活用したテレマ保険の開発・販売を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決に取り組んできました。本サービスを多くの路線バス運行事業者へ提供することで事故を低減し、安全・安心な地域の公共交通の維持に貢献していきます。また、本サービスのさらなる機能拡充を目指し、ドライバー個別のスコアリング結果を基にパーソナライズされた教育コンテンツの配信や、得られた路線バス走行データとスコアリングデータの自動運転領域での活用を検討します。

大阪シティバスは、本サービスを活用し、ドライバー個人への指導のほか、可視化された危険挙動発生場所をもとに事故の発生状況を分析し、予防安全に務める取り組みを行います。

なお、あいおいニッセイ同和損保は2027年4月を目途に三井住友海上保険株式会社との合併を予定しており、合併新会社においても本サービスを提供し、バス事業者の事故削減と人手不足の解決に貢献していきます。

※5 CSV…Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX …Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

以上